

# チャノキイロアザミウマ情報第1号

令和8年4月15日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

発生ピーク予測日は前年と比べてかなり早い！  
発生状況に注意しましょう

## 1 発生ピークの予測

有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて5月6日から14日です（表）。現時点で今年のチャノキイロアザミウマ第1世代成虫の発生ピークは、前年と比べ6日～9日早いと予測します。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日（4月15日計算時点）

	愛西	南知多	名古屋	大府	豊田	岡崎
第1世代	5/12	5/14	5/6	5/8	5/10	5/11
（前年）	5/18	5/20	5/15	5/16	5/18	5/18
前年差	6日早	6日早	9日早	8日早	8日早	7日早
第2世代	6/8	6/11	6/3	6/3	6/8	6/8

	蒲郡	豊橋	新城	伊良湖	稲武
第1世代	5/8	5/10	5/11	5/10	6/5
（前年）	5/16	5/17	5/19	5/18	6/10
前年差	8日早	7日早	8日早	8日早	5日早
第2世代	6/5	6/7	6/9	6/7	7/3

各地のアメダス平均気温から予測。

4月14日までは実測値を、それ以降は平年値を補正（気象庁の確率予測資料（1か月予報気温））したものをを用いて計算。

前年の第1世代は、前年気温の実測値を用いて計算。

今後の気温が平年よりも高く推移すると、表の発生ピークは現時点の予測日より若干早まる可能性があります。

なお、4月30日発表予定の「令和8年度病害虫発生予報第2号（5月）」に、最新の気温データを基にした発生ピーク予測日を掲載しますので、参考にしてください。 (<https://www.pref.aichi.jp/site/byogaichu/index.html>)

## 2 防除対策

ブドウでは、例年5月上旬頃から成虫の飛来があり（図）、カキでは開花期頃から成虫の飛来が多くなります。

**チャノキイロアザミウマの防除では、成虫発生ピーク時の農薬散布が最も防除効果が高いとされています。**例年発生の多いほ場では、第1世代成虫の発生ピーク時期に防除しましょう。

また、防風用に植えているイヌマキやサンゴジュなどは、本種の発生源になりますので、これらでの発生状況にも注意しましょう。

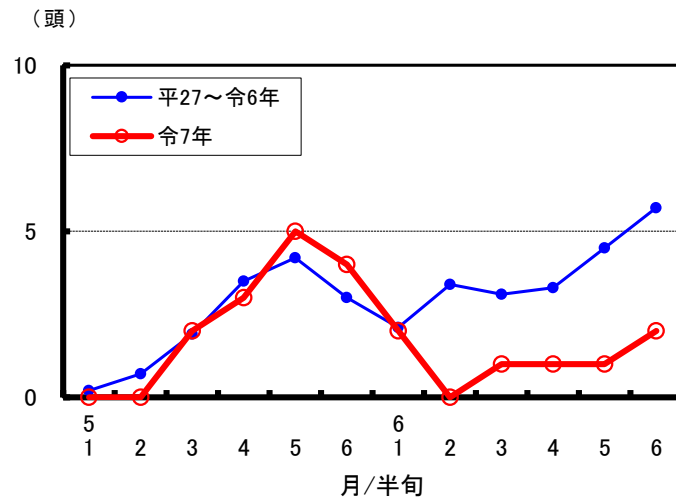


図 東浦町（ブドウ）の黄色粘着板におけるチャノキイロアザミウマの誘殺状況  
（平成 27～令和 6 年の平年値及び令和 7 年のデータ）